



全国学力・学習状況調査結果(小・中国語)を受けての取組を紹介します。10月以降の取組に生かしていきましょう。

- 【課題1】
- ・文章や情報を正確に読むことに課題がある。
 - ・提示された文章・情報や問いの文の読み違い、読み飛ばし、思い込み等がある。

【課題1に対する方策】・・・文章読解の基礎・基本を身に付ける学習活動を位置付ける。

- 音読や視写を取り入れる。
- 語、語句、文、段落などの関係性を押さえながら、一つの文章・情報の構造と内容を正確に把握させる。
- 「引用して書く」「工夫して書く」とはどのようなことか、具体的にモデルを示して、練習する場を設定する。

授業の中で、「**わかった!**」「**できた!**」経験を積み重ねる。
→ **子供たちの「国語が好き!」が増えていく。**



- 【課題2】 目的意識・条件意識等を持ち、複数の文章や情報を比較・関連付けて、自分の考えを書くことに課題がある。

【課題2に対する方策】・・・複数の情報を比較・関連付けて、自分の考えを書く学習活動を位置付ける。



「話すこと・聞くこと」においては

【話し合い】

Aさん (話題) について、私は・・・。
 Bさん 私は、Aさんと違って・・・。
 Cさん 確かにBさんのいうとおり・・・。
 教師 AさんとBさんの話には共通点もありますね。
 Dさん 二人の意見は○○○で似ていますが、△△△では、違っています。私は□□□です。

※あらゆる授業や日常生活の中で行う。
 ※タブレット端末で話し合いを録画し、自他の話し合いの様子を観察する。

【子供】 先の人の意見を踏まえて、つなげて(関連付けて)いく。

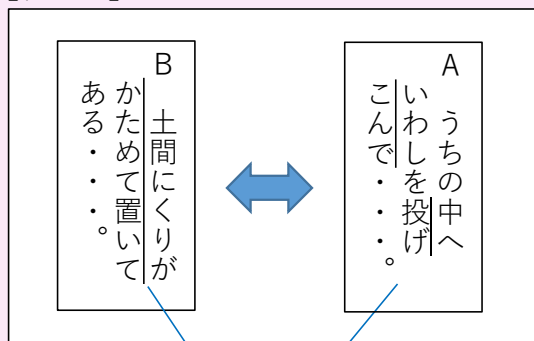
【教師】 子供の意見と意見を意図的につなげる(関連付ける)。

【子供】 教師の発言を受けて、自分なりに考えている。



「読むこと」においては

【物語文】



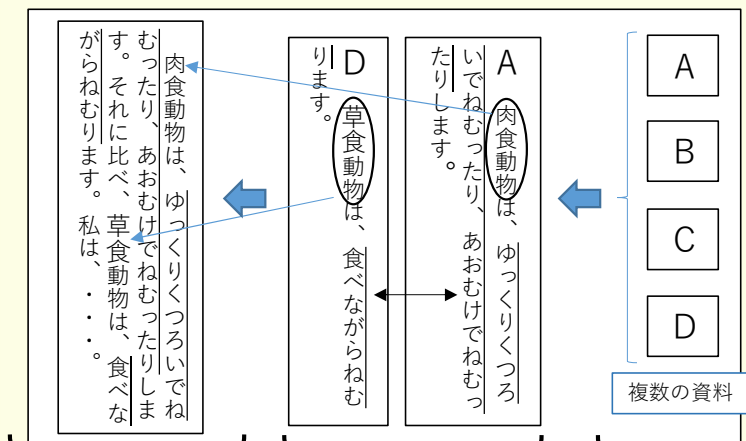
AとBを比べて(比較して)、結び付けて(関連付けて)読み取り、自分の意見を書く。

※一つの文章であっても、複数の情報を比較する学習を行うことができる。



「書くこと」においては

【報告文】



③情報を比較・関連付けて、自分の考えを書く。

②重要と考える言葉や文に印を付ける。

①目的や意図に応じて、資料を収集・選択する。

※書く機会や、書いたものを読み合う機会を増やす。

【ポイント】 「一つの文章・情報の構造と内容を正確に把握する単元」と「複数の情報を扱う単元」双方の学習体験が重なっていくように、弾力的に指導する。

